

感染防止安全計画

1. 開催概要

※「感染防止策チェックリスト」の開催概要の添付でも可

イベント名	第57回とまこまいスケートまつり		
出演者・チーム等	別途、一覧		
開催日時	令和5年2月4～5日（10時00分～18時00分）		
開催会場	中央公園		
会場所在地	苫小牧市若草町2丁目3		
主催者	第57回苫小牧スケートまつり実行委員会		
所在地	苫小牧市表町5丁目11-5 ふれんどビル3F		
連絡先	電話：0144-32-6448 メール：kanko@city.tomakomai.hokkaido.jp		
収容率 (上限) いずれかを選択	大声なしで開催		
	<input type="checkbox"/> ①収容定員あり 100%	<input checked="" type="checkbox"/> ②収容定員なし 人と人が触れ合わない程度の間隔	
	「大声あり」、「大声なし」のエリアを明確に区分して開催		
	<input type="checkbox"/> ③収容定員あり 大声なしのエリア:100% 大声ありのエリア:50%	<input type="checkbox"/> ④収容定員なし 大声なしのエリア: 人と人が触れ合わない程度の間隔 大声ありのエリア: 十分な人と人との間隔(最低1m)	
収容定員	屋外公園施設のため収容定員の記載困難		
参加人数	約5万人(2日間合計見込)		
その他 特記事項			

(※) 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当するものとする。

(注) 収容率(上限)において、③を選択した場合は、「大声あり」と「大声なし」のエリアの区分ごとの収容定員・参加人数を記載すること。

2. 具体的な対策

1. イベント参加者の感染対策

(1) 感染経路に応じた感染対策

①飛沫感染対策

<チェック項目>

適切なマスク（不織布マスクを推奨。以下同じ。）の正しい着用の
周知・徹底

イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント
参加者間の適切な距離の確保

（「大声あり」、「大声なし」のエリアを区分して開催する場合、上記対策に加え
て、）

大声なしエリア・大声ありエリアの明確な区分があり、それぞれにおけ
る、イベント参加者間の適切な距離の確保

大声なしエリアにおける、大声を防止するための対策の実施

<具体的な対策>

<記載項目（例）>（※）対策の例であり、必須の取組ではないことに
留意すること

- マスクを着用しない者や大声を出す者（大声なしの場合）に対する個
別注意等の具体的方法の検討・実施
 - マスクを着用しない者や繰り返し大声を発する観客（大声なしの場
合）の退場措置の事前準備・周知（チケット購入時の約款に明記等）
 - 応援自粛に係るファンクラブ等との事前調整
 - 警備員や映像・音声によるモニタリング、個別注意や退場の徹底
- 入場ゲートの増設、開場時間の前倒し、時間差・分散退場の実施、密
集を回避するための人員配置や動線確保等の体制構築、交通機関と
の連携（駅付近の混雑度データを踏まえた増便等）による誘導
- 密になりやすい場所での二酸化炭素濃度測定器等を活用した混雑状
況の把握・管理、マーキング、誘導員等の配置による誘導

（「大声あり」、「大声なし」のエリアを区分して開催する場合、上記対策に加えて、）

- チケット販売時等におけるエリア区分に関する周知・徹底
 - イベントごとの声出し応援のルール等の周知・徹底
 - 座席指定などエリアごとにチケットを分けて販売
- 主催者及び出演者等からのアナウンスや警備員の配置等による、大声なしエリアにおける応援自粛の呼びかけ、及び大声を出す者がいた場合の個別注意や退場の徹底

（記載欄）

- （１）会場内に注意喚起の張り紙等を設置し、マスクの着用や大声を発生しないよう周知する
- （２）マスクを着用しない来場者に対して個包装のマスクを配布し、着用を促す
- （３）ルールを守らない来場者に対して、実行委員会にて注意喚起を行う
- （４）来場時の混雑緩和のため、出入口を４か所設置
- （５）すべり台では、利用者がすれ違わないよう一方通行にしており、距離確保及び安全管理のため人員を配置する
- （６）ステージ前及び飲食スペースについては、前後１m以上の間隔をあけ配置する

②エアロゾル感染対策

＜チェック項目＞

- 機械換気による常時換気又は窓開け換気
 - 必要な換気量（一人当たり換気量 30 m³/時を目安）を確保するため、二酸化炭素濃度を概ね 1,000ppm 以下を目安（二酸化炭素濃度測定器の活用が効果的）
 - 機械換気が設置されていない場合の窓開け換気は、可能な範囲で２方向の窓開け
 - 機械換気、窓開け換気ともに、相対湿度の目安は 40-70%
 - 屋外開催は除く
- 適切なマスクの正しい着用の周知・徹底【①と同様】
- イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】

<具体的な対策>

<記載項目（例）>（※）対策の例であり、必須の取組ではないことに留意すること

- 各施設の設備に応じた換気
 - 施設に備わっている換気設備の確認、その仕様を踏まえた適切な換気
 - 二酸化炭素濃度測定器による常時モニターや映像解析を活用した換気状況を確認するための手法の検討・実施
 - 換気能力維持のための定期的な検査・メンテナンス
- マスクの着用及び距離の確保については、①飛沫感染対策の対策例を参照

（記載欄）

（１）屋外開催及び①飛沫感染対策に同じ

③接触感染対策

<チェック項目>

- イベント参加者によるこまめな手洗・手指消毒の徹底や、主催者側によるイベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）の消毒の実施
- イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】

<具体的な対策>

<記載項目（例）>（※）対策の例であり、必須の取組ではないことに留意すること

- 具体的な手洗場、アルコール等の手指消毒液の設置場所、準備個数等の検討・実施
- アナウンス等による手洗・手指消毒の呼びかけ
- 距離の確保については、①飛沫感染対策の対策例を参照

（記載欄）

（１）仮設トイレ前・飲食スペース・会場出入口４カ所に消毒液を設置し、手指消毒を促す

- (2) アナウンス等での手洗・手指消毒の呼びかけ
- (3) 飲食スペースについては、不織布と消毒スプレーを設置することで来場者自身がテーブル・イスを消毒できる環境を整える
- (4) 飲食スペースにスタッフを配置し、状況に応じて消毒・清掃作業を実施する

(2) その他の感染対策

④ 飲食時の感染対策

<チェック項目>

- 上記(1) 感染経路に応じた感染対策と併せて、飲食時の感染対策（食事中以外のマスク着用、飲食に伴いマスクを外す際の会話自粛等）の徹底の周知

<具体的な対策>

<記載項目（例）>（※）対策の例であり、必須の取組ではないことに留意すること

- アナウンス等による飲食時の感染対策の呼びかけ
- 飲食専用エリアの設置及び当該エリアでの飲食の推奨
- 飲食店に求められる感染対策等を踏まえた飲食専用エリアでの感染対策（身体的距離の確保、マスクを外して会話を行う者への個別注意等）

(記載欄)

- (1) 会場内の食べ歩きを禁止とし、会場内に飲食スペースを2カ所設ける
- (2) 1テーブルあたり4名までとし、飲食スペース内に立ち席も用意することで長時間の滞在を防ぐ
- (3) 会場内に飲食スペースが2カ所あることをアナウンス等で周知する
- (4) 座席数を減らすことで十分な距離を確保する

- (5) 協賛店には事前に体調の把握を行っていただき、従事する場合はマスクの着用を徹底する

⑤ イベント前の感染対策

<チェック項目>

- 発熱等の症状がある者のイベント参加の自粛の呼びかけ

<具体的な対策>

<記載項目（例）>（※）対策の例であり、必須の取組ではないことに留意すること

- 体制構築の上、検温・検査の実施
- 発熱等の症状がある者の参加自粛を促すことができるキャンセルポリシーの整備

（記載欄）

- （１） 出入口を４か所に限定し、検温・消毒を徹底し、37.5℃以上の発熱の可能性のあるものについては入場をお断りする
- （２） 開催前に市民配布するプログラムに入場時の検温・消毒及び体調がすぐれない場合の参加自粛の呼びかけを掲載
- （３） HPに本安全計画を掲載

⑥ 感染拡大防止策

<チェック項目>

- イベントで感染者が発生した際の参加者への注意喚起

<具体的な対策>

<記載項目（例）>（※）対策の例であり、必須の取組ではないことに留意すること

- 感染者が発生した旨のHP等を活用した参加者への迅速な周知
- 各地域の通知サービス（QRコードを用いたもの等）等による参加者への注意喚起手法の確立

(記載欄)

(1) 感染者が発生した旨の HP 等を活用した参加者への迅速な周知

2. 出演者やスタッフの感染対策

⑦出演者やスタッフの感染対策

<チェック項目>

- ☑ 出演者やスタッフによる、練習時・本番等における上記(1)感染経路に応じた感染対策に加え、健康管理や必要に応じた検査等の実施
- ☑ 舞台と客席との適切な距離の確保など、出演者やスタッフから参加者に感染させないための対策の実施

<具体的な対策>

<記載項目(例)> (※) 対策の例であり、必須の取組ではないことに留意すること

- 日常から行う出演者やスタッフの感染対策の実施
 - 健康アプリの活用等による健康管理
 - 出演者やスタッフの必要に応じた検査の実施
 - 発熱等の症状がある者は出演・練習を控える
 - 練習時やその前後の活動等における適切なマスクの正しい着用、出演者やスタッフの関係者間の適切な距離確保、換気等
- 本番及びその前後の活動における出演者やスタッフの感染対策の実施
 - 控室等における換気やマスク着用の徹底、三密の回避
 - 舞台上等でのマスク着用の有無に応じた演者間の適切な距離の確保
 - 本番前後でのマスクの適切な着用
 - イベント前後を含めた1.(2)④飲食時の感染対策の徹底の呼びかけ
- ステージと観客席間の適切な距離の確保、出演者やスタッフ及び観客双方への感染対策の周知

(記載欄)

- (1) 出演者控室はこまめな換気と消毒作業を実施する。
- (2) 観客席を減らすことで十分な距離を確保する。
- (3) 体調がすぐれない出演者については出演をお断りする。

※提出時には、イベントのチラシや計画書等（既存資料）、参考とした業種別ガイドライン等も添付してください。

3～4は、該当する場合のみ記載してください。

3. 対象者全員検査の実施に関する実施計画

※緊急事態措置の発令時に、人数上限を超えて、収容率100%での開催をしようとする場合に記載

※「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（令和4年1月7日変更）における「対象者に対する全員検査」の取扱いについて」（令和4年1月7日付け事務連絡）等を確認の上、下記の項目について、実施の有無をチェックしてください。

「検査結果」のいずれも対象としている。

実施を予定している検査の内容について具体的に記載してください。

（記載欄）

「検査結果」の確認方法について具体的に記載してください。

（記載欄）

抗原定性検査を実施する場合には、「ワクチン・検査パッケージにおける抗原定性検査の実施要綱」（令和3年11月19日付け事務連絡）に従い、適切に実施している。

その他の事項についても、「ワクチン・検査パッケージ制度要綱」に従い、適切に実施している。

4. 専門家との調整状況

※専門家の事前確認を受けた場合に記載

助言を受けた専門家：（所属）
（氏名）

主な助言内容：